

# JIS

## 写真－医用撮影用カセット・増感紙・ フィルム－寸法及び仕様

JIS Z 4905 : 2005

(JIRA/JSA)

平成 17 年 3 月 25 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 医療用具技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	菊 地 眞	防衛医科大学校
(委員)	青 山 理恵子	社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
	石 谷 薫	日本歯科器械工業協同組合
	井 上 政 昭	日本医療機器関係団体協議会
	大 村 昭 人	帝京大学
	小 倉 英 夫	日本歯科大学
	片 倉 健 男	日本医療器材工業会
	亀 水 忠 茂	日本歯科材料工業協同組合
	添 田 直 人	財団法人医療機器センター
	田 中 良 明	日本大学
	土 屋 利 江	国立医薬品食品衛生研究所
	堤 定 美	京都大学
	根 本 幾	東京電機大学
	萩 原 敏 彦	社団法人電子情報技術産業協会
	平 野 昌 弘	社団法人日本ファインセラミックス協会
	堀 江 孝 至	日本大学
	村 上 文 男	社団法人日本画像医療システム工業会

主 務 大 臣：厚生労働大臣， 経済産業大臣 制定：昭和 37.2.1 改正：平成 17.3.25

官 報 公 示：平成 17.3.25

原 案 作 成 者：社団法人日本画像医療システム工業会

(〒113-0034 東京都文京区湯島 2-18-12 湯島 KC ビル TEL 03-3816-3450)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1573)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：医療用具技術専門委員会 (委員長 菊地 眞)

この規格についての意見又は質問は，上記原案作成者，厚生労働省医薬食品局審査管理課 [〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2 TEL 03-5253-1111 (代表)] 又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット環境生活標準化推進室 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお，日本工業規格は，工業標準化法第 15 条の規定によって，少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され，速やかに，確認，改正又は廃止されます。

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本画像医療システム工業会 (JIRA)／財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、厚生労働大臣及び経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS Z 4905 : 1998** は改正され、**JIS Z 4912 : 1992** は廃止・統合され、この規格に置き換えられる。

今回の改正は、日本工業規格を国際規格に整合させるため、**ISO 4090 : 2001-08-15, Third edition (Photography – Medical radiographic cassettes/screens/films and hard-copy imaging films – Dimensions and specifications)** を基礎として用いた。

**JIS Z 4905** には、次に示す附属書がある。

- 附属書 A (参考) 医用ロールフィルムの従来の寸法
- 附属書 B (規定) 直角度
- 附属書 C (参考) 遮光性試験
- 附属書 D (参考) 増感紙・フィルム密着試験 (一般撮影用カセット)
- 附属書 E (規定) 増感紙・フィルム密着試験 (乳房撮影用カセット)
- 附属書 F (参考) インチ公称寸法のメートルへの変換
- 附属書 G (参考) フィルムの寸法安定性
- 附属書 H (参考) 包装数量
- 附属書 I (参考) インチ寸法－フィルム寸法の例外
- 附属書 1 (参考) **JIS** と対応する国際規格との対比表

## 目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 引用規格	1
3. 定義	1
3.1 乳房撮影用カセット標準寸法	1
3.2 乳房撮影用カセット旧標準寸法	1
4. 寸法測定の場合	2
5. 一般撮影用カセット	2
5.1 寸法	2
5.2 幾何学的精度	4
5.3 入射 X 線ビームの減弱	4
5.4 一般撮影用カセットの設計	4
6. 乳房撮影用カセット	5
6.1 分類	5
6.2 寸法	5
6.3 幾何学的精度	6
6.4 入射 X 線ビームの減弱	6
6.5 乳房撮影用カセットの設計	6
6.6 圧迫	7
6.7 フィルム・胸壁間距離	7
6.8 X 線検出器の可動領域	7
7. 増感紙	8
7.1 寸法	8
7.2 コーナ	10
7.3 直角度	11
7.4 位置	11
8. フィルム	11
9. 包装の表示	11
附属書 A (参考) 医用ロールフィルムの従来の寸法	12
附属書 B (規定) 直角度	13
附属書 C (参考) 遮光性試験	14
附属書 D (参考) 増感紙・フィルム密着試験 (一般撮影用カセット)	15
附属書 E (規定) 増感紙・フィルム密着試験 (乳房撮影用カセット)	16
附属書 F (参考) インチ公称寸法のメートルへの変換	19
附属書 G (参考) フィルムの寸法安定性	19

附属書 H (参考) 包装数量 .....	19
附属書 I (参考) インチ寸法—フィルム寸法の例外 .....	19
附属書 1 (参考) JIS と対応する国際規格との対比表 .....	20
解 説 .....	23

白 紙

# 写真—医用撮影用カセット・増感紙・フィルム— 寸法及び仕様

## Photography—Medical radiographic cassettes/screens/films and hard-copy imaging films—Dimensions and specifications

**序文** この規格は、2001年8月に第3版として発行された ISO 4090 : 2001, Photography—Medical radiographic cassettes/screens/films and hard-copy imaging films—Dimensions and specifications を元に、対応する部分については対応国際規格を翻訳し、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格では点線の下線を施してある箇所は、原国際規格の内容を変更して規定した事項である。変更の一覧表をその説明を付けて、**附属書 1 (参考)** に示す。

**1. 適用範囲** この規格は、写真—医用撮影用カセット (以下、カセットという。)・増感紙・フィルムの公称寸法、寸法及び許容差、質量及び試験方法を規定する。

**備考** この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、ISO/IEC Guide 21 に基づき、IDT (一致している)、MOD (修正している)、NEQ (同等でない) とする。

ISO 4090 : 2001, Photography—Medical radiographic cassettes/screens/films and hard-copy imaging films—Dimensions and specifications (MOD)

**2. 引用規格** 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで発行年を付記してあるものは、記載の年の版だけがこの規格の規定を構成するものであって、その後の改正版・追補には適用しない。

ISO 554 : 1976 Standard atmospheres for conditioning and/or testing—Specifications

IEC 61267 : 1994 Medical diagnostic X-ray equipment—Radiation conditions for use in the determination of characteristics

**3. 定義** この規格のために、次の用語及び定義を適用する。

**3.1 乳房撮影用カセット標準寸法** 現在の工業標準寸法。

**備考** 乳房撮影用カセット標準寸法と旧標準寸法との寸法及び許容差は異なる。

**3.2 乳房撮影用カセット旧標準寸法** 古い工業標準寸法。

この定義を定めている理由は、以前から使用されている古いタイプのカセットが、現在も臨床用として暫くの間使用されると予想されるからである。